



野田小学校 学校だより

南風の丘から

学校づくりのモットー
明るく楽しく美しく

校長 大嶋博之

出会いと別れ

令和四年度の異動により職員七名が野田小学校を離れ、同じく七名の先生方が四月から着任されます。



《転出》

- 大嶋校長 ↓ 口之津中学校へ
- 宮木先生 ↓ 加津佐小学校へ
- 鬼塚先生 ↓ 加津佐小学校へ
- 苑田先生 ↓ 雲仙市立北串小学校へ
- 高木先生 ↓ 北有馬中学校へ
- 古瀬先生 ↓ 口之津小学校へ
- 井口さん ↓ 口之津小学校へ

《転入》

- 雪野校長 ↑ 第二小学校(島原)から
- 永田先生 ↑ 南有馬小学校から
- 高見先生 ↑ 飯野小学校から
- 七條先生 ↑ 布津小学校から
- 久間先生 ↑ 北有馬中学校から
- 吉田先生 ↑ (新規)
- 岡さん ↑ 加津佐中学校から

もうしばらくは先生方と過ごした令和三年度を、慈しみながら思い出に浸りたいと思います。転出される先生方、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

思い出いろいろ

今日は最終回ということで、個人的な視点からの「野田小での思い出」を、そこはかとなく五点だけ抜粋したいと思います。

…となれば、一番の思い出はやっぱり、

《授業中に鼻血！》

ピンチヒッターで入った二年生の図工、子どもたちの発想の広がりや一生懸命さに思わずタラつと出てしまいました。感動で鼻血が出たのは人生初めて(！)でした。

《50周年記念普賢岳登山》

「新型コロナで中止かな？」と思っていたら「噴火した時も別の山に登りました」との歴史に覚悟がガチッと決まりました。当日の真つ青な空とみんなの笑顔は一生忘れません。

《日に日に成長する子どもたち》

子どもたちの表情や行動は、昨日と今日では違ってくるに成長していくことを目の当たりにしてきました。六年生の立派な姿を中学校に引き継ぎたいと思います。

《ウコッケイに人生を学ぶ》

あんなにいい具合だった(一時期、五羽の間に三件発生)のに、小屋を住みやすく改装し食事をきちんと与えるなど、お世話をしつかりやったらすっかり落ち着いて、ヒヨコも元気に育ちました。学ぶ事の多いウコッケイでした。

《別れ》

最後は相川先生のことです。校長として深く反省し決意を固めた悲しい別れでした。健康あつての仕事、命あつての人生です。

野田小学校での思い出と学びを胸に刻んで、次の職場でも頑張っていきたいと思います。二年間、ありがとうございます。

《コラム あかね雲》

小学校勤務の経験

初めて小学校に勤務した私が感じたことを、(紙面の都合で)3点だけ挙げると次のとおりです。

- 中学校で新入生を「子ども扱い」するのは間違い。(立派に育つて、何でもできる！)
- 小学校と中学校での学びを「連結」させることが、とても大事。(もつと交流を！)
- 小学校の先生のがんばりはすごい！(別の言い方ではがんばりすぎ。一週間に授業が24コマ！いつ授業の準備をやるの!! それでいて昼休みも児童と遊んだり児童会の世話をしたりしている！)

まさしく身を粉にしてはたらく小学校の先生方が、心血注いで送り出した子どもたちを、今度は迎える側になります。バトンを受け取る意識は、今は「責任」と「覚悟」に変わりました。



《 主な行事予定 》

- 《3月》
- 24日(木) 修了式、離任式
- 《4月》
- 6日(水) 着任式、始業式
- 7日(木) 給食開始(新2~6年生)
午前中授業日 ~8日
- 8日(金) 入学式
(1年生の給食は14日から)
- 13日(水) 歓迎行事(歓迎集会・遠足・海岸清掃・砂の造形、要弁当)
- 14日(木) 避難訓練
- 15日(金) PTA総会、専門部会、学級部会
- 19日(火) 全国学力調査(6年生)
県学力調査(5年生)
- 20日(水) 交通安全教室
- 25日(月) 午前中授業日、通学路安全確認
(家庭訪問は行わず、7月に二者面談を予定)

《心に響いた言葉》 「六年間、楽しいことがたくさんありました。一つひとつのことが今でも心に残っています。中学校でも、たくさんの思い出をつくりたいです。」 宮崎さんの卒業文集「思い出」から



学校教育目標「明るく清い資質を備え、これからの社会の中で、共に元気をもって生きるための基礎・基本を身につけた子どもの育成」



いっしょに

東京と北京でオリンピック・パラリンピックが開催された令和三年度の一年間に撮った写真の中からほんの一部を抜き出してみました。「一瞬一瞬の学びが、彼らと彼らに関わる未来を決める」との想いで綴ってきた学校だよりとホームページでした。意味が不明なものも多々あったかと思いますが、どうぞ御容赦ください。「南風の丘から」最終号となりました。これまでの御愛読、ありがとうございました。